

(4) 建築士受験資格について

平成 21 年度入学生（学部，大学院とも）から，指定科目の単位取得が建築士の受験に必須となりました。

(4)-1 大学卒業後，実務 2 年ののち一級建築士試験の受験資格を得ようとする場合

1. 卒業時に卒業証明書と一級建築士試験指定科目修得証明書を発行するので，これらの書類を添えて認定機関に受験申請する。
2. 表 1 の認定科目の中から丸数字で示した各分野（①～⑩）で所定の単位数（括弧内の数字）が必要となる。
3. 表 1 の指定科目の総合計が 60 単位以上であることが必要となる。
4. 大学院で指定科目から所定の単位数（15 単位以上）を修得すると，必要な実務期間は 1 年に短縮できる。

表(4)-1-1 信州大学工学部建築学科における認定科目

指定科目の分類(単位数)		指定科目			
二級・木造 (実務年数は 取得単位数による)	一級 (実務 2 年)	科目名	履修学年	必修・選択	単位数
①建築設計製図 実務 0～2 年 (5 単位以上) 実務 3～5 年 (3 単位以上)	①建築設計製図 (7 単位以上)	建築設計製図第 1	2	必修	2
		建築設計製図第 2	2	必修	2
		建築設計製図第 3	3	必修	2
		建築設計製図第 4	3	必修	2
		建築設計製図第 5	4	選択	2
単位数小計 10	単位数小計				10
②～④建築計画， 建築環境工学 または建築設備 実務 0～2 年 (7 単位以上) 実務 3～5 年 (2 単位以上)	②建築計画 (7 単位以上)	建築計画第 1	2	必修	2
		建築計画第 2	3	選択	2
		建築史第 1	2	必修	2
		建築史第 2	2	選択	2
		建築保存再生論	3	必修	2
		建築デザイン論	2	選択	2
		地域計画	3	選択	2
	単位数小計				14
	③建築環境工学 (2 単位以上)	建築環境工学第 1	2	必修	2
		建築環境工学第 2	2	必修	2
		応用環境工学	3	必修	2
		建築環境工学演習	3	選択	1
		応用環境工学演習	3	選択	1
		建築環境工学実験	3	選択	1
単位数小計				9	
④建築設備 (2 単位以上)	建築設備第 1	2	必修	2	
	建築設備第 2	3	必修	2	
	建築設備演習	2	選択	1	
	建築設備基礎	2	必修	2	

単位数小計	30	単位数小計				7
⑤～⑦構造力学, 建築一般構造 または建築材料 実務0～2年 (6単位以上) 実務3～5年 (3単位以上)	⑤構造力学 (4単位以上)	建築構造力学第1	2	必修	2	
		建築構造力学第2	2	必修	2	
		建築構造力学第1演習	2	必修	1	
		建築構造力学第2演習	2	必修	1	
		防災工学	3	選択	2	
		振動学	3	選択	2	
		建築地盤工学	3	選択	2	
	単位数小計					12
	⑥建築一般構造 (3単位以上)	木質構造	2	選択	2	
		鋼構造	3	必修	2	
		鉄筋コンクリート構造	3	必修	2	
		建築構造設計	3	選択	2	
	単位数小計					8
	⑦建築材料 (2単位以上)	建築材料	2	必修	2	
建築構造材料実験		3	選択	1		
単位数小計	23	単位数小計				3
⑧建築生産 (1単位以上)	⑧建築生産 (2単位以上)	建築施工学	3 or 4	選択	2	
単位数小計	2	単位数小計				2
⑨建築法規 (1単位以上)	⑨建築法規 (1単位以上)	建築法規	3 or 4	選択	2	
単位数小計	2	単位数小計				2
⑩その他 (適宜)	⑩その他 (適宜)	建築ゼミナール	1	必修	2	
		都市と建築	1	必修	2	
		都市・地域環境計測	3	選択	2	
		基礎環境工学	2	選択	2	
単位数小計	8	単位数小計				8
67 (20単位以上)	67 (30単位以上)	①～⑨の単位数合計				
75 (20～40単位以上)	75 (60単位以上)	総単位数(①～⑩の単位数合計)				

(4)-2 大学院での実務経験期間の認定

実務経験2年間のうち、1年間を大学院の単位取得に置き換えたい場合は、表(4)-2-2の各分野から1つを選び、表(4)-2-1に示す単位を修得する必要があります。

表(4)-2-1 実務経験を1年に短縮する場合の必要単位数

必要単位数 (実務1年)	インターンシップの単位数	インターンシップ関連科目の単位数	
		講義	実験・演習
15単位以上	4単位以上(期間1ヶ月程度)	8単位以下	8単位以下

表(4)-2-2 信州大学工学系研究科社会開発専攻(建築コース)の場合の指定科目

分野	指定科目	単位数			
		インターンシップ	講義	演習	実験
建築歴史意匠	建築設計インターンシップ	4			
	建築保存再生設計インターンシップ	4			
	建築設計演習Ⅰ			4	
	建築設計演習Ⅱ			4	
	建築設計演習Ⅲ			4	
	建築保存再生設計学		2		
建築構造	建築構造設計インターンシップ	4		4	
	建築構造設計学演習			4	
	建築構造設計学実験				4
	建築構造設計学Ⅰ		2		
	建築構造設計学Ⅱ		2		
建築環境設備	建築設備設計インターンシップ	4		4	
	建築環境設計学演習			4	
	建築環境設計学実験				4
	建築設備設計学演習			4	
	建築設備設計学実験				4
	建築設備設計学		2		
	建築環境設計学		2		
	環境設計学演習			4	
	環境設計学特別実験				4

注意事項

- (1)分野(建築歴史・意匠, 建築構造, 建築環境設備のうちどれか)を決めて, その中で受講して下さい。複数の分野を渡って受講をして必要単位数を満たしても受験資格にはなりません。
- (2)インターンシップを受講する学生は, 保険(学生研究災害障害保険および学研災付帯賠償責任保険)にあらかじめ加入して下さい。保険に加入していない学生は受講できません。
- (3)インターンシップを受講する学生は, 受講登録前に指導教官にご相談下さい。